

第8回 鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年9月28日(水) 9:30~10:40	
開催場所	町田市立鶴川第二小学校 1階 ランチルーム(ウェブ会議併用)	
出席者 (敬称略)	委員	早稲田委員、田中委員、成海委員、大川原委員、吉川委員、大塚委員、廣田委員、陶山委員、○鈴木委員、◎鯉坂委員 (◎会長 ○副会長)
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	0名	

議事内容

1 第7回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 (資料1説明)

学校の統合と学区の再編に伴う学区外通学については、第6回の検討会に引き続き、通学距離の配慮として統合により通学が長距離となる児童の負担軽減に向けた配慮について学務課より説明した。

学校統合に伴う避難施設機能については、防災課より学校統合に伴う工事期間中の鶴川第二小学校の避難施設機能や、2029年度以降の鶴川第三小学校の避難施設機能について、今後の検討方法など市の考え方について説明した。

新たな学校の避難施設機能については、防災課からの説明も踏まえ新たな学校における避難施設機能について大切にすべき考え方などをワークショップで意見交換し、避難先の体育館に必要な設備や避難中に使用する防災倉庫やマンホールトイレなどについて、避難に当たっての動線の確保の方法などについて多くのご意見をいただいた。

最後に、鶴川東地区の新たな学校名の選定については、第6回検討会で議論した本検討会として3案程度に絞り込んでいく「方法」と「視点」を踏まえ、各委員がよいと思う学校名の候補及びその学校名を選んだ理由をワークショップ形式で伺った。本日は、その結果を踏まえ本検討会として3案程度の候補を最終的に選定したいと考えている。

2 鶴川東地区の新たな学校づくり基本計画検討会報告書(案)について

新たな学校推進課 (資料2-1、2-2説明)

本検討会では、本年1月28日に開催した第1回検討会で説明したとおり、鶴川東地区の新たな学校づくりに向けて必要な検討項目についての議論の結果を、教育委員会に報告書という形で報告をしていただく。その後、本検討会の報告に基づき教育委員会において「新たな学校づくり基本計画」を策定する。

本日は、これまで7回の検討会の議事の結果を、鶴川東地区新たな学校づくり基

本計画検討会報告書（案）という形でまとめたので、資料2-2のとおり報告する。

3 通学の負担軽減について

新たな学校推進課 （資料3-1～3-4説明）

通学の負担軽減に関して、本日は、全市的な状況を勘案した上での公共交通機関を利用した通学方法の方向性を説明し、その方向性に基づいた鶴川東地区における路線バスの運行状況等の調査結果を報告する。なお、第5回の検討会において、鶴川東地区では、新たな通学区域においても通学時間が徒歩で30分以上かかる児童が想定されないことから、基本的には徒歩での通学が想定される旨を説明したことを申し添える。

資料3-1の項番1のとおり、路線バスをはじめとする公共交通機関を通学において利用することが可能かどうかを評価するための全5つの評価項目を設定した。評価の結果、鶴川東地区においては、バスの利用が通学に可能であり、スクールバス等の通学手段についての検討は行わず、徒歩及び路線バスによる通学を前提として検討を進めていきたいと考えている。

委員 学校に最寄りのバス停について、私が子どもだったら正門より手前で降りるかなと思うので、平和台坂上ではなく1個手前のバス停なのかなと思った。

新たな学校推進課 今回の資料では、事務局で想定したバス停を提示している。委員がおっしゃったとおり、実際にはこっちのバス停のほうがいいんじゃないかといった具体的な検討については、来年度以降ご意見を伺いながら進めていきたい。

4 通学路の安全対策について

新たな学校推進課 （資料4-1、4-2説明）

7月に委員の皆様にご協力いただき実施した、通学路になる可能性がある道路の現地確認の結果共有と、新しい通学区域における通学路の安全対策の検討についての今後のスケジュールを説明する。

今後のスケジュールとしては、検討会でのご意見や今回の現地確認の結果等を交通管理者や道路管理者に対して報告し意見交換を実施していく予定。また、統合に向けて継続して検討を行う必要がある事項なので、2023年度以降も引き続き関係者の皆様と意見交換をしながら進めていきたいと考えている。

5 鶴川東地区の新たな学校名の選定について

会長 こちらは、資料5に基づいて私が進行する。

鶴川東地区の新たな学校名の選定については、前回の検討会において、各委員がよいと思う学校名とその理由を3案程度出していただき、その理由を踏まえ、学校名を選定するに当たって大切な考え方について、グループワークで意見交換した。その結果、学校名には「鶴川」は含めたほうがよく、分かりやすい学校名がよいというご意見を多くいただいた。

そのほかの大切な考え方は、資料の下の段のほうの表のとおり、①地名、②立地（地形）、③自然・周辺環境など、の3種類に大きく分類できると考える。それぞれの分類に該当する学校名の候補、前回検討会でよいと言われた委員の数、意見募集での意見数を資料のとおりまとめた。

この3つの大切な考え方は優劣があるものではなく、本検討会での検討の結果として等しく大切にすべきであることから、本検討会で選定する3案は、この①、②、③それぞれの大切な考え方から1案ずつを選定し、合計3案とすることを提案するが、皆さんのご意見を伺いたい。

〔 全委員了承 〕

会長 それでは、まず各委員がそれぞれの分類の中でよいと思う校名1案ずつ付箋に記入していただいた後に、その学校名を選んだ理由などを伺いながら意見交換をしたい。

〔 ホワイトボード 付箋貼付 〕

会長 それでは、順番に発表していただきたい。

委員 分類①は「鶴川能ヶ谷小学校」を選んだ。駅名と住所が入っていれば分かりやすいかなと考えた。「鶴川東小学校」とも悩んだが、鶴川西地区の新たな学校名が「鶴川西」じゃなかった場合に並びが悪いのかなと考えて「鶴川能ヶ谷小学校」を選んだ。

分類②は、「鶴川坂の上小学校」を選んだ。「丘の上」でもいいのかなと考えたが、やっぱり坂を上ったところにある学校なので、「坂の上」というのがいいなと考えた。

分類③は、学校が平和台にあることにも関連するので、「鶴川平和小学校」を選んだ。

委員 ほとんど消去法だが、分類①地名は「鶴川東小学校」にした。鶴川の東の端であることは確かなので。ただ、鶴川西地区の学校ができる現在の鶴川第四小学校の敷地が鶴川の西の端ではないので、対にならなかつたらどうするんだろうということが気になった。

分類②立地（地形）は、校名に上、下をつけるのはあまり良くないかなと思った。そうかといって「がんばり坂」も校名にするのはどうかなと感じるので、分類②は無しでお願いしたい。

分類③自然・周辺環境は、近隣の幼稚園や保育園に似た名前があり、同じ名前になっちゃうのはまずいんじゃないかと思ったので、そのような名前を除いて「鶴川みどり小学校」か「鶴川青空小学校」で最後まで悩んだが、併記させていただいた。

委員 分類①の地名からは、私は「鶴川東小学校」を選んだ。「能ヶ谷」とか、「平和台」とかを校名に入れてしまうと、学区内のほかの地域に住んでいる人が聞いたらどう

思うかという面を考えなきゃいけないと思う。

分類②の立地については、私は「鶴川坂上小学校」を選んだ。「坂の上」という「の」が入ったのと入らないのとがあるが、子どもたちも「の」を入れなくても十分通じるんじゃないかと思う。「がんばり坂」を入れたいと思ったが、票数が少ないので変更した。

分類③の自然については、大体みんな幼稚園と同じような名前ばかりだったので、私は「鶴川緑坂小学校」を選んだ。

委員

分類①の地名からは「鶴川東小学校」を選んだ。理由としては、この名前を選んだ人数が多かったというところが強い。

分類②の立地からは「鶴川坂上小学校」にした。「がんばり坂」とも迷ったが、学校名としてはちょっと長くなるので、短いほうにした。

分類③の自然・周辺環境からは、私は「鶴川平和小学校」にした。今、世界でいろいろな状況があるが、平和であってほしいという願いを込めた。

委員

分類①は「能ヶ谷小学校」を選ばせていただいた。三輪小学校、大蔵小学校という学校が建っている地名を学校名にしているものがあることと、将来的にどこにある学校なの、ともし聞かれたときや、学校が様々な場面で利用、活用されるの中で、避難場所になったときなど、一番分かりやすいんじゃないのかなということを踏まえて、選ばせていただいた。

分類②の立地については、「鶴川坂の上小学校」と「鶴川坂上小学校」で悩んだが、坂上という地名的なイメージが出ているので、学校の立地が想像ができる場所ということで「鶴川坂の上」にさせていただきました。

分類③の自然からは、皆さんからご意見が出たけれども、確かにどこかで聞いた名前だなと感じた。そこで、大勢の皆さんの意見が寄せられていた、「鶴川みどり小学校」を選んだ。

委員

分類①は、「つるかわ」が平仮名で書かれた「つるかわ東」を選んだ。平仮名が入ることで柔らかい印象になると思った。

分類②の立地は、前回の検討会で「鶴川坂上小学校」を候補として出して、せっかく2票選んでいただいて申し訳ないのだが、「鶴川坂の上小学校」を今回選んだ。理由は、「坂上」で「の」が入っていないと、「サカガミ」と読み間違えてしまうこともあるかなと思ったため。

分類③は「鶴川ふたば」を選んだ。ふたばが2つの学校が統合するということを表していること、あと、ふたばの芽が子どもたちの成長を象徴しているかなと感じた。あと、やっぱり平仮名が入ると柔らかい印象になると思った。

委員

分類①地名は「鶴川東小学校」にした。鶴川地区の東に建てられる学校なので、良いと考えた。

分類②立地は「鶴川坂の上小学校」にした。この立地をみると丘で、四方から子どもが通学してくるので、名前としては「丘の上」のがいいのかなと思っていたが、頑張っ坂の上に上るイメージがあるので、「坂の上」にした。

分類③の自然からは「鶴川みどり小学校」にした。周辺の自然が豊かなので、そのイメージとぴったりかなと思って選んだ。

委員

分類①地名は「鶴川東小学校」にした。これまでの鶴川地区全体の出来事を振り返ってみて、千都の杜の区画整理に関わったが、そのとき千都の杜という名前を住所に入れてほしいという希望が多かった。三輪緑山という名前が入れられたんだから能ヶ谷千都の杜何丁目にしてほしいということだったが、その話を聞いていた平和台の方たちが、では、自分たちも能ヶ谷平和台という住所にしてほしいということになっていった。

ここはもともと能ヶ谷という地名で、鶴川団地が開発されるときに鶴川という地名ができたという背景はあるけれども、特定の地名を含めると先ほどのような事象が起きることも懸念されるので、大きく鶴川という表現のほうがみんな親しみやすいかなというところもあって「鶴川東」にした。

分類②立地は「鶴川坂の上小学校」にした。理由は、自分が子どもの頃から坂の上の小学校と言われていて、鶴川第二小学校は坂の上のあそこでしょうと、坂の上の小学校というイメージがずっとあるので、これを選んだ。

分類③自然・周辺環境については、3年生と4年生に少し授業をやらせていただく機会があって、災害が起きたらみんな何ができるかと考えてもらうような授業だったり、何を大切にしたいか聞く授業だったりをすると、やっぱり緑を大切にしたいという答えで、今ある緑を守るのは当然なんだけれども、さらに緑を増やしていこうよというような話をしたときに、子どもたちは本当に目が輝いていたので、何を大切にするというキーワードは緑がいいな、と思い選んだ。

委員

まず、地名からは、地理的に東地区にあるので、「鶴川ひがし小学校」にした。すべて漢字だと硬いので、「ひがし」を平仮名にしたほうがいいんじゃないかと思う。

立地からは「鶴川坂の上小学校」を選んだ。こちらのほうが「坂上」よりも言い回しがいいんじゃないかと思った。

最後に、自然・周辺環境からは、自然環境とは関係ないかもしれないが、今、ウクライナでの問題など非常に厳しい状況があり、常に平和であってほしいという意味を込めて「鶴川平和小学校」にした。

会長

本日欠席の委員から事前に伺った校名とその理由を事務局から発表させていただく。

新たな学校推進課

まず、1人目の委員から、分類①の地名からは「鶴川東小学校」を選ばれた。理由は、所在地の位置が分かりやすく、地域の方や子どもたちのみならず、よそに住んでいる方からも場所が分かりやすいんじゃないかというご意見だった。

②立地（地形）からは、「鶴川坂の上小学校」を選ばれた。理由としては、がんばり坂の上にあるのでこの名前がいいというご意見だった。

③自然・周辺環境などからは、「鶴川みどり小学校」を選ばれた。理由としては、学校周辺に緑が多いので、すごく緑豊かな学校というイメージがしやすいといったご意見であった。

2人目の委員は、分類①から漢字で「鶴川能ヶ谷小学校」を選ばれた。理由としては、やはり学校が建つ住所が能ヶ谷なので、分かりやすいのではないかというご意見だった。

分類②からは「鶴川坂の上小学校」を選ばれた。理由としては、分類②の案の中で一番当てはまっていると感じたというご意見だった。

分類③からは、「鶴川平和小学校」を選ばれた。平和台にも結びつくので、土地柄を表すものとしてとても良いのではないか、というご意見だった。

最後に、そのほかお二人の委員からは、特定の候補については挙げなくて構わないので、分かりやすい名前にして欲しいということ、保護者や地域の方々の思いを大切にして、地域から愛されるような名前に決定してほしいというご意見をいただいた。

本日、急遽ご欠席された1名の委員からは特定のご意見を伺っていないので、事務局から本日の結果を報告させていただく。

会長 それでは、それぞれの分類から1案ずつ選定していくために、付箋を貼ったホワイトボードを整理させていただく。

〔 ホワイトボード 整理 〕

会長 それでは、分類①地名から選定したい。漢字か平仮名かは別にして、「鶴川東小学校」というご意見が、本日の委員からのご意見でも意見募集の結果でも最も多いので、分類①からは「鶴川東小学校」を選定したらどうかと思う。他の委員のご意見なども踏まえたうえでいかがか。

〔 反対意見なし 〕

では、分類①地名からは漢字か平仮名かは別にして、「鶴川東小学校」を選定する。

次に、分類②立地（地形）から1案を選定する。本日の委員からのご意見でも意見募集の結果でも「鶴川坂の上小学校」が最も多いので、「鶴川坂の上小学校」を選定したらどうかと思う。他の委員のご意見なども踏まえたうえでいかがか。

〔 反対意見なし 〕

では、分類②立地（地形）からは「鶴川坂の上小学校」を選定する。

最後に分類③自然・周辺環境からの選定になるが、ここでは、本日の委員のご意見としては「鶴川みどり小学校」と「鶴川平和小学校」が同数になっている。この2案のどちらかになると思うが、皆様のご意見を伺いたい。

- 委員 「平和」という言葉は平和台という特定の地名を想起させてしまうので、他の地域の人の心情を考えるとどうかと思う。
- 会長 「鶴川平和小学校」にすると平和台を想起させ、ほかの地域とのバランスをかんがえるとどうか、というご意見だった。他にご意見はないか。「鶴川みどり小学校」のほうが良いということで問題ないか。
- 委員 「鶴川平和」だと、すぐそこに鶴川平和台幼稚園があり、「鶴川みどり」でも、みどりの森保育園が近くにある。幼稚園や保育園にご迷惑がかからなければ良いが。
- 委員 どちらも全く同じ名前ではないが、どうだろうか。
- 委員 小学校との交流など、いろんな事情がある。
- 会長 近隣の幼稚園や保育園と名前が重ならないように選定しなければならない可能性もあることがわかった。そのような事情で使用できないことがない前提下で、皆さんのご意見から「鶴川みどり小学校」を選定することでいかがか。

〔 反対意見なし 〕

それでは、この3案を本検討会が選定する新たな学校名の候補とする。

最後に、鶴川東地区の新たな学校名の選定に係る今後のスケジュールについて、事務局から説明する。

新たな学校推進課 本検討会としての鶴川東地区の新たな学校名の候補としては、まず、地名から「鶴川東小学校」、立地（地形）から「鶴川坂の上小学校」、最後に、自然・周辺環境などから「鶴川みどり小学校」の3案に決定したことを確認させていただく。今後、この3案を10月以降の様々な広報紙を用い、市民へ広く周知していくことを想定している。そこでいただいたご意見は本検討会に報告し、皆さんと意見交換させていただき、最終的に教育委員会で1案に絞り2023年度以降の町田市議会を経て、最終確定となる。

6 次回検討会について

新たな学校推進課 次回、第9回検討会につきましては、10月26日9時30分から、鶴川第三小学校をお借りして開催することを予定している。

会長 閉会のあいさつ